

第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会開催要項
－組織整備強化事業(助成事業)－

1 趣 旨

第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会を通じて、団員にスポーツの楽しさを経験する機会を提供するとともに、団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯感を高めることをねらいとして実施する。

2 主 催

公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団
関東各都県体育(スポーツ)協会 関東各都県スポーツ少年団
公益財団法人群馬県スポーツ協会 群馬県スポーツ少年団

3 共 催 (予定)

群馬県 群馬県教育委員会

4 主 管

第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会実行委員会

5 後 援 (予定)

前橋市 高崎市 桐生市 みどり市 前橋市教育委員会 高崎市教育委員会
桐生市教育委員会 みどり市教育委員会 群馬県野球連盟 群馬県バレーボール協会
群馬県バスケットボール協会 群馬県バドミントン協会 群馬県空手道連盟
上毛新聞社 群馬テレビ FM GUNMA

6 協 賛 (予定)

大塚製薬株式会社

7 協 力 (予定)

群馬県スポーツ少年団専門部会
(軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道)
群馬県スポーツ少年団指導者協議会
群馬県スポーツ少年団リーダー会

8 期日及び会場

(1)総合開会式

期 日 令和元年7月26日(金) 14時から(受付12時30分から)
会 場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター ぐんまアリーナ
〒371-0047 群馬県前橋市関根町800

(2)競 技

期日	令和元年7月27日(土)～28日(日)	
会場	軟式野球	桐生球場、広沢球場
	バレーボール	高崎市榛名体育館
	ミニバスケットボール	ALSOKぐんまアリーナ
	バドミントン	桐生大学グリーンアリーナ
	空手道	ALSOKぐんま武道館

9 競技方法

競技別実施要項による。

10 参加資格

- (1)平成31年度日本スポーツ少年団登録団員及び指導者であること。
- (2)平成31年度スポーツ安全協会傷害保険に加入済みであること。
- (3)選手は、12歳(平成31年4月1日現在)以下で、原則として4年生から6年生までの小学生であること。
- (4)引率責任者を除き、代表指導者及び指導者は、認定員又は認定育成員資格を有する者であること。
また、ベンチ入り指導者は有資格者のみとする。

11 各都県役員編成

原則として各都県役員は、本部長、総務とする。

12 チーム編成

- (1)軟式野球(各都県1チーム)
引率責任者1名、代表指導者1名、指導者2名、スコアラー1名(登録指導者)、
団員20名(1都県あたり合計25名)
- (2)バレーボール(各都県女子1チーム)
引率責任者1名、代表指導者1名、指導者2名、団員12名(1都県あたり合計16名)
ただし、開催県は2チームとする。
- (3)ミニバスケットボール(各都県男女各1チーム)
1チームあたり引率責任者1名、代表指導者1名、指導者2名、団員15名(1都県あたり
合計38名)ただし、開催県は2チームとする。
- (4)バドミントン(各都県男女各1チーム)
引率責任者1名、代表指導者1名、指導者2名、団員男子6名・女子6名(1都県あたり
合計16名)
- (5)空手道(各都県団体形・組手とも男女各2チーム)
引率責任者1名、代表指導者1名、指導者3名、団員24名(1都県あたり合計29名)

13 経費

大会経費は、(公財)日本スポーツ協会補助金と関東各都県分担金(35万円)と、
その他の収入をもって充てる。

14 表彰

1位～3位までのチームに賞状・メダルを授与する。(軟式野球は、各ブロック2位までとする。)

15 申込方法

所定の参加申込用紙に必要事項を記入のうえ、下記に申し込むこと。

〒371-0047 群馬県前橋市関根町800

公益財団法人群馬県スポーツ協会 群馬県スポーツ少年団

第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会実行委員会

TEL : 027-234-5555 FAX : 027-234-5926

E-mail : sposho@gunma-sports.or.jp

16 申込期限

令和元年7月5日(金) 必着

17 参加上の注意事項

- (1)各都県の代表団員は、ユニフォームに所属都県名を明示すること。
- (2)参加団員及び参加指導者は、下記のとおり団員章及び指導者章を付けること。

競技名	団員登録章	指導者登録章	備考
軟式野球	右袖(縫付け)	右袖(縫付け)	有資格者章/左脇腹
バレーボール	左肩(縫付け)	左肩(安全ピン可)	有資格者章/左胸
ミニバスケットボール	左胸(縫付け)	左胸(安全ピン可)	有資格者章/左胸
バドミントン	左又は右肩(縫付け)	左肩(安全ピン可)	有資格者章/左胸
空手道	左肩(縫付け)	左肩(縫付け)	監督 ID カード(3名)

- (3)参加者の健康診断は、各都県の責任において実施すること。
- (4)競技中の事故に対しては、主催者は応急処置を行い、その後は参加者側で処置すること。

18 宿泊・輸送

- (1)宿泊については、各チームの自己手配とする。
- (2)会場間の移動は、各チームにて行う。

19 傷害保険

大会期間中は、実行委員会が参加者全員を被保険者として傷害保険に加入する。
 なお、競技中のケガ等のみを対象とする。

20 組み合わせ抽選

令和元年6月7日(金)開催の第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会実行委員会において行う。

21 携行品

- (1)各競技並びに日常生活に必要な服装・用品・体育館シューズ・健康保険証(コピー)等
- (2)都県本部旗・単位団旗
- (3)その他全ての持ち物には、所属団名(都県名)・氏名を記入すること。
- (4)開会式に参加する指導者・団員は、室内シューズを持参すること。

22 記念品交換

- (1)各試合会場において記念品交換を行う。
- (2)記念品の内容は次のとおりとする。

競技名	記念品
軟式野球	試合開始前の挨拶のときにハガキ交換を行う。 宛名箇所に分の郵便番号・住所・氏名を明記の上、 27日の1回戦、28日の決定戦または交流戦の2枚を用意する。
バレーボール	1日目の各試合前の挨拶の時に、代表団員(主将)が行う。 記念品は色紙と各地区の名産品(1,500円程度)とする。 各チームは、1日目に対戦する2チーム分を用意する。
ミニバスケットボール	試合の開始に先立ってチームの写真を添付した色紙4枚の交換を行う。
バドミントン	色紙の交換とし、各対戦相手と行う。(色紙は7枚用意する)
空手道	1日目の開始式前に・全員で集合写真・各都道府県別を撮影し、 之に充てる。 ※ 写真代については、600円の自己負担とする。

23 競技開始式・閉会式
競技ごとに行う。

24 代表者会議

(1)日時 令和元年7月26日(金) 15時から

(2)会場

競技名	会場
軟式野球	ALSOKぐんま総合スポーツセンター 本館 第2研修室
バレーボール	ALSOKぐんま武道館 第1会議室
ミニバスケットボール	ALSOKぐんま武道館 第4会議室
バドミントン	ALSOKぐんま武道館 第2会議室
空手道	ALSOKぐんま武道館 第3会議室

25 参加者変更

令和元年7月5日(金)の参加申込後に指導者又は団員を変更する場合は、代表者会議で所定の変更届を提出すること。

26 個人情報の取り扱い

別紙申込書に記載された個人情報並びに大会期間中に撮影した写真は、大会プログラム、報告書への掲載のほか、本大会の実施にあたり必要な場合のみ使用することとする。

※この事業は公益財団法人スポーツ安全協会の助成を受けて開催するものです。

第 38 回関東ブロック競技別交流大会

【 軟式野球 】

1 期 日

令和元年 7 月 27 日（土） ブロック別トーナメント 【試合開始】 10：00～
7 月 28 日（日） ブロック別代表決定戦及び交流戦
【試合開始】 10：00～

2 会 場

桐生球場 群馬県桐生市相生町 3 丁目 300 TEL：0277-52-2362
広沢球場 群馬県桐生市広沢町 5 丁目 4716-11 TEL：0277-52-3456

3 競技規則及び方法

- (1) 本大会は 2019 年公認野球規則・全日本軟式野球連盟競技者必携の「競技運営に関する注意事項」及び「競技に関する連盟特別規則」を適用する。
- (2) 使用球は、全日本軟式野球連盟公認の「ナイガイボール J 号球」とする。
- (3) バットは、木製及び全日本軟式野球連盟公認の「JSBB」マーク入り金属製バットを使用する。
- (4) 金属スパイクの使用を禁止する。
- (5) 捕手の防具は、全日本軟式野球連盟公認のマスク(ショートガード付)・レガーズ・ヘルメット・プロテクター及びファールカップを着用すること。シートノック時から着用し、控の捕手も同等とする。
- (6) 打者・次打者・走者及びベースコーチは、全日本軟式野球連盟公認の「JSBB」マーク入りの両側にイヤーフラップの付いたヘルメットを着用すること。
- (7) ベンチに入れる人員は以下のとおりとする。
 - ① 引率責任者は私服とし、登録指導者とする。なお、団員(選手)への指示、指導はできない。
 - ② 代表指導者(監督)は、背番号 30 番とし、登録有資格指導者(認定員又は認定育成員)であること。
 - ③ 指導者(コーチ)は、背番号 29・28 番とし、登録有資格指導者(認定員又は認定育成員)であること。
 - ④ スコアラーは、私服でチーム帽子を着用することとし、登録指導者とする。なお、団員(選手)への指示、指導はできない。
 - ⑤ 団員(選手)は 10 名以上 20 名以内で、背番号は 0～99 までとし、代表団員(主将)は 10 番とする。
 - ⑥ 同一チームの代表指導者(監督)、指導者(コーチ)、団員(選手)は、同色、同形、同意匠のユニフォーム・アンダーシャツ・ストッキング・帽子を着用すること。
 - ⑦ 熱中症対策として、1 チーム 2 名の保護者(女性)がベンチに入ることを認める。

4 競技運営に関する取決め事項

- (1) その日の第1試合のチームは、試合開始予定時刻の30分前までに、大会本部が用意する打順表(6通)を持って代表指導者(監督)と代表団員(主将)と一緒に本部へ提出し、照合を受けて攻守の決定を行う。打順表へは出場する団員(選手)全員を記載しフリガナをつけること。
- (2) 第2試合以降のチームは、前の試合の4回終了もしくは40分経過後に打順表を上記同様に行う。
- (3) 試合開始予定時間前でも前の試合が早く終了した場合、次に試合開始を早める場合がある。
- (4) 試合開始時間になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。
- (5) 試合前のシートノックは5分間とする。シートノック時の補助員はヘルメットを着用すること。大会運営上シートノックを行わない場合がある。
- (6) ベンチ内での携帯電話、携帯マイクの使用を禁止する。但し、メガホン1個に限り使用を認める。
- (7) 試合のスピード化に関する事項
 - ① 試合の進行状況によっては、タイムを制限することがある。
 - ② 投手の準備投球数は球審の指示により行うこと。
 - ③ 攻守交代は駆け足で行うこと投手に限り歩いても差し支えない。また、代表指導者(監督) 指導者(コーチ)のマウンドへの行き帰りは小走りで行うこと。
 - ④ 投手は必ず投手板について捕手のサインを見ること。
 - ⑤ 次打者は、必ず次打者席(ネクストバッタースボックス)に入り低い姿勢で待つこと。
 - ⑥ 打者は、みだりにバッターボックスを外さないこと。サインもボックス内で見ること。
 - ⑦ 内野手間のボール回しを制限することがある。
 - ⑧ 代打・代走の通告は氏名と共に代打者・代走者の背番号を球審に見せて行う。
- (8) その他
 - ① ファウルボールの処理については、両チーム選手が行うこと。
ベンチ前から外野方向へのボールは両ベンチのチーム選手が処理し、バックネット前のボールは攻撃チームの選手が処理すること。
 - ② 小雨の場合、日程の都合上、球場が使用可能な状態の場合は試合を行うことがある。
 - ③ 雨天の場合の連絡等について
 - ア. 試合可能な場合は大会本部からチームに連絡する。
 - イ. 当日試合を全く行わない場合と、午前中見合わせて午後から行う場合があるので大会本部からの連絡等に注意すること。

5 競技に関する特別規則

- (1) 本大会の試合は7回とし、試合成立は5回終了以降とする。

- (2) 交流試合についても7回戦を原則とするが90分の試合制限時間を採用して行う。但し最低5回までは行うものとする。最終回において同点の場合は(4)に定めるタイブレークは行わず引き分けとする。(90分時間制限とは、90分を過ぎたら新しいイニングに入らないこと。)
- (3) 本大会において7回終了時、同点となった場合は次のイニングからタイブレークに入る。
タイブレークは、継続打順とし前回の最終打者を1塁走者、2塁の走者は順次前の打者として、無死1塁・2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。
- (4) タイブレークは最大2イニングまでとし、2イニングを行っても勝敗を決しない場合は抽選によって勝敗を決定する。
- (5) 抽選方法は、全日本軟式野球連盟競技者必携の学童部による。
- (6) 5回終了以前に降雨、日没等で試合続行が困難になった場合は、特別継続試合・大会中止の判断は本部の指示によるものとする。
① 特別継続試合とは、その日の試合が続行できず、翌日に試合を続行すること。
② 大会中止とは、予定している日程で大会が行えなくなった場合。
- (7) 得点差によるコールドゲームは、5回終了以降7点差とする。
- (8) 投手の投球制限については、健康維持を考慮し、1日70球までとする。ただし、打撃中に70球に達した場合は、その打者の打撃が完了するまでとする。
- (9) 抗議できるものは、代表指導者(監督)または、当事者でなければならない。
- (10) 代表指導者(監督)または指導者(コーチ)が投手の所へ行く回数の制限。
① 代表指導者(監督)または指導者(コーチ)が、同一イニングに同一投手の所へ2回行くか、行ったとみなされた場合は、投手は交代しなければならない。但し、交代した投手が、他の守備位置につくことは許されるが、同一イニングには再び投手には戻れない。
② 捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数を3回とする。
- (11) メンバーの変更は、令和元年7月26日(金)の代表者会議の席上まで認める。その後の変更は認めない。
- (12) 27日に敗れたチームは28日に交流戦を行う。但し、天候やグラウンドの状況により代表決定戦を優先し、交流戦を行わない場合がある。

6 雨天による大会運営

(1) 大会初日

- ① 終日、試合不可能な場合は、初日の日程を2日目(翌日)に順延する。
但し、交流戦は行わないこととする。なお、代表決定戦については、ブロック毎に、ダブルヘッダーを行い、関東ブロックの代表を決定する。
- ② 各ブロック第1試合終了後、第2試合以降不成立の場合は、翌日に第2試合以降を順延とする。この場合も①同様、交流戦は行わないこととする。
なお、代表決定戦については、ブロック毎に、ダブルヘッダーを行い、関

東ブロックの代表を決定する。①②ともに代表決定戦は、第1試合終了後、30分後に開始する。

- (2) 大会両日もしくは2日目が試合不可能な場合は、組合せの各ブロックにより、予め9名の団員を選出し、全日本軟式野球連盟「競技者必携」による抽選を行い、関東ブロック代表を決定する。

7 その他

- (1) 本実施要項に定められていない事項が生じた場合は、競技委員協議の上、競技委員長の権限により処理する。
- (2) 記念品交換については、試合開始前のあいさつの時にハガキ交換を行う。ハガキ表面に自分の住所・氏名等を明記の上、27日、28日の2試合、2枚を用意する。
- (3) 応援団について
- ① 自チーム及び相手チームの団員(選手)並びに審判員に対する野次・ブーイングは行わないこと。
 - ② その他、目に余る応援・試合進行の妨げになる応援等については本部、審判団より厳重注意を行います。
 - ③ 球場内にはごみ箱を設置しておりません。ごみが出た場合、お持ち帰りにご協力ください。

第38回関東ブロック競技別交流大会

【 バレーボール 】

1 期 日

令和元年7月27日(土)	開場・受付	9時00分から
	開始式	10時00分から
	競技開始	10時30分から
令和元年7月28日(日)	開場・受付	9時00分から
	競技開始	10時00分から
	閉会式	14時00分から(予定)
	※全体練習	9時45分まで(両日)

2 会 場

・高崎市榛名体育館 群馬県高崎市上里見町 453 TEL: 027-360-8111

3 競技規則及び方法

- (1) 2019年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制の競技規則による。
ただし、別に定める小学生バレーボール・フリーポジション制・ラリーポイント21点制を用いる。また、第3セット目は先に15点を得たチームが取る。14-14の同点になった場合は(16-14:17-15のように)2点のリードが得られるまでプレーは続く。
- (2) コートの大きさは8m×16m、サービスゾーンは8m、フロントゾーンの幅は2.7m、ネットの高さは2mとする。
- (3) 試合は3セットマッチにより行う。なお、試合間は15分間の休憩を設けることとする。
- (4) 第1日目は、3チームによる予選をリーグ戦方式で行う。

試合順序は「7 試合順序」による

(高崎市榛名体育館A・B・Cコート)

組	コート	①	②	③
予選1組	A			
予選2組	B			
予選3組	C			

- (5) 第2日目は、予選リーグにおける1位、2位、3位の順位ごとにリーグ戦方式で行う。

(高崎市榛名体育館A・B・Cコート)

組	コート	①	②	③
1位リーグ	A	予選1組1位	予選2組1位	予選3組1位
2位リーグ	B	予選1組2位	予選2組2位	予選3組2位
3位リーグ	C	予選1組3位	予選2組3位	予選3組3位

4. 競技運営に関する取り決め事項

ベンチに入れる人員は、試合前の練習、試合中ともに下記のとおりとする。

- (1) 引率責任者は、登録指導者とする。
- (2) 代表指導者(監督)は、登録有資格指導者(認定員または認定育成員)に限る。

(3)指導者(コーチ、マネージャー)は2名以内で、内1名は登録有資格指導者(認定員または認定育成員)に限る。

(4)上の(2)・(3)のうち1名は、公益財団法人日本スポーツ協会のバレーボール指導員資格、または全国小学生バレーボール指導者二次講習会の受講証明書(指導者認定証)も所持していることとする。

(5)団員(選手)は、12名以内とし、代表団員(主将)は、キャプテンマークを着けること。
なお、団員(選手)はスポーツ少年団登録をしている者に限る。

※(1)は指導者登録章を左肩、(2)(3)は、指導者登録章を左肩、有資格者章を左胸(安全ピン止め可)、(5)は団員登録章を左肩に縫い付けること。

5 使用球 公益財団法人日本バレーボール協会が公認する株式会社ミカサ製軽量4号球を使用する。※ボールの内気圧については、6人制競技規則に準ずる。

6 順位の決定方法

順位決定方法は、公益財団法人日本バレーボール協会の定める「リーグ戦形式の順位決定方法」及び本大会の順位決定方法による。

(1)勝率(総勝試合数÷総試合数)の大きいチームを上位とする。

(2)セット率(総得セット数÷総失セット数)の大きいチームを上位とする。

(3)得点率(総得点数÷総失点数)の大きいチームを上位とする。

(4)直接対戦した場合はその勝敗で決定する。

7 試合順序

次の順序で各試合を行う。

	第1日目			第2日目		
	Aコート 予選1組	Bコート 予選2組	Cコート 予選3組	1位リーグ (Aコート)	2位リーグ (Bコート)	3位リーグ (Cコート)
第1試合	①-②	①-②	①-②	1組1位-2組1位	1組2位-2組2位	1組3位-2組3位
第2試合	②-③	②-③	②-③	2組1位-3組1位	2組2位-3組2位	2組3位-3組3位
第3試合	①-③	①-③	①-③	1組1位-3組1位	1組2位-3組2位	1組3位-3組3位

8 その他

(1) 競技・審判・運営上の注意事項については代表者会議において説明するが、ラインジャッジ等については、開催県で担当する。

(2) 記念品交換については、1日目の各試合前の挨拶の時に、代表団員(主将)が行う。
記念品は色紙と各地区の名産品(1,500円程度)とする。
各チームは、1日目に対戦する2チーム分を用意する。

第 38 回関東ブロック競技別交流大会

【 ミニバスケットボール 】

1 期 日

令和元年 7 月 2 7 日 (土)	開始式	9 時 3 0 分から
	競技開始	1 0 時 3 0 分から
令和元年 7 月 2 8 日 (日)	競技開始	9 時 3 0 分から
	閉会式	1 6 時 0 0 分から (予定)

2 会 場

ALSOK ぐんま総合スポーツセンター ぐんまアリーナ
群馬県前橋市関根町 8 0 0 Tel : 027-234-1200

3 競技規則及び方法

- (1) ルールは、(公財)日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則に準ずる。
- (2) ディフェンスは、(公財)日本バスケットボール協会マンツーマンディフェンス基準規則に準ずる。
- (3) 試合中の指導者 1 名は競技本部で準備した ID カードを着用する。この者はチーム責任者と呼び試合中のチームの指揮をとる。
- (4) メンバー表はプログラムによる。メンバー変更は、代表者会議の時のみ受け付ける。その後のメンバー変更は出来ない。
- (5) 試合の進行上の理由によって、試合の開始時刻が遅れる場合は、前試合終了の 1 0 分後に開始する。また、予定より早く進行しても、試合の開始時間は早めない。
- (6) 試合球は、主催者が用意した 5 号認定球(人工皮革)を使用する。
- (7) 試合は 1 日目に 1 ブロック 3 チームによる予選リーグを 3 ブロックで行う。2 日目に各ブロックの 1 位、2 位、3 位同士の順位リーグ戦を行う。
- (8) 予選リーグ、決勝リーグ、順位別リーグとも延長戦は行わない。得点制とし、勝ちチームは 2 点、引き分けは 1 点、負けチームは 0 点。チームの順位決定方法は、次の順で決定する。
 - ① 勝ち点の大なるチームが上位。
 - ② ゴールアベレージ(総得点÷総失点)の大なるチームが上位。
 - ③ 得失点差(総得点－総失点)の大なるチームが上位。
 - ④ 上記①②③で順位が決まらない場合は指導者による抽選で決定。
- (9) 開始式は、全チーム参加とする。閉会式は、決勝リーグチームのみ参加とする。
- (10) 記念品交換については、試合の開始に先立ってチームの写真を添付した色紙 4 枚の交換を行う。

4 競技運営に関する取り決め事項

- (1) ベンチに入れる人員は最大 4 名とし、試合前の練習、試合中ともに下記のとおりとする。
 - ① 引率責任者は、登録指導者とする。
 - ② 代表指導者(監督)は、登録有資格指導者(認定員または認定育成員)に限る。
 - ③ **指導者(コーチ)は、2 名以内で登録有資格指導者(認定員または認定育成員)に限る。**
 - ④ 団員(選手)は、1 5 名以内で団員登録をしている者に限る(小学 1 年生から参加できる。)
- ※①は指導者登録章を左胸(安全ピン可)、②③は指導者登録章を左胸、有資格者章を左胸(安全ピン可)、④は団員登録章を左胸(縫付け)又は各チーム T シャツに縫い付けること。

5 会場使用上の注意(ALSOKぐんまアリーナ)

- (1)選手・指導者及びチーム関係者(応援者含む)の駐車場は、敷地内「イベント西駐車場」になります。
- (2)体育館の入館(開場)は両日とも、8時45分からになります。
- (3)選手、指導者及びチーム関係者は、アリーナ2階正面入り口をご利用ください。
- (4)チームは指定された席をお願いします。
- (5)観覧席での飲食は禁止です。また、チームで出されたゴミはお持ち帰りください。
- (6)身体障害者席は使用しないでください。
- (7)応援用の幕は、手すりの下に付けてください。
- (8)競技会場は、メインフロアでA・B・Cコート of 3面となります。
- (9)メインフロアには選手・指導者以外は、入場することはできません。
- (10)鳴り物(笛、太鼓類)による応援は、できません。
- (11)競技中のケガ等に対しては、応急処置として看護師が対応します。
救急医療関係機関はご紹介いたします。
- (12)コンセントの使用は禁止です。

6 開始式

- 7月27日(土)9:30~
- ALSOKぐんまアリーナ メインフロア
- 次第
 - ・開始宣言
 - ・主催者あいさつ
 - ・役員、来賓紹介
 - ・チーム紹介
 - ・競技上の諸注意
 - ・会場使用上の注意
 - ・解散

7 閉会式

- 7月28日(日)16:00~(予定)
- ALSOKぐんまアリーナ メインフロア
- 次第
 - ・主催者あいさつ
 - ・成績発表
 - ・表彰
 - ・終了

第 38 回関東ブロック競技別交流大会

【 バドミントン 】

1 期 日

令和元年 7 月 27 日（土） 開 始 式：午前 9 時 30 分
競技開始：午前 10 時 00 分 予選リーグ
令和元年 7 月 28 日（日） 競技開始：午前 9 時 00 分 順位決定リーグ
閉 会 式：競技終了後

2 会 場

桐生大学グリーンアリーナ
〒379-2311 みどり市笠懸町阿左美 1714-2 TEL：0277-77-1616

3 種目及びチームの編成

- (1) 男女別の団体戦・予選リーグ・順位決定リーグ戦
2 複 1 単：単複は兼ねることができない。一人 1 種目とする。
試合順はダブルス 1・シングルス・ダブルス 2 で行なう。
- (2) チーム編成（各都県男女各 1 チーム）
団員男子 6 名・女子 6 名、引率責任者 1 名、代表指導者 1 名、指導者 2 名
（1 都県あたり 16 名以内）とする。

4 競技規則及び方法

- (1) この大会は 2019 年度（公財）日本バドミントン協会競技規則・大会運営規定及び同公認審判規定に準じて行なう。
- (2) 競技方法
 - ① 1 都 7 県（開催県も 1 チーム）8 チームが A ブロック・B ブロックに分かれて予選リーグを行ない、各ブロックの 1・2 位チームと 3・4 位チームの順位決定リーグを行なう。
 - ② 2 複 1 単の県別対抗戦とし、21 点ラリーポイント、3 ゲームマッチ
 - ③ 使用シャトルは（公財）日本バドミントン協会第 2 種検定審査合格球以上とする。
 - ④ 服装は（公財）日本バドミントン協会審査合格品とし、上衣の背面中央に下記のように、都県名・氏名を黒または紺の日本字（楷書）で書いたゼッケンを付ける。文字列各行の大きさは、高さ 6 cm～10 cm、横 25 cm 以内とする。



5 競技運営に関する取り決め事項

- (1) ベンチに入れる人員は、試合前の練習・試合中ともに下記のとおりとする。
 - ① 引率責任者は、登録指導者とする。

- ②代表指導者（監督）は、登録有資格指導者（認定員または認定育成員）に限る。
③指導者（コーチ）は、2名以内で登録有資格指導者（認定員または認定育成員）に限る。
④ベンチ入りは、登録指導者のうちの2名までとする。
⑤団員（選手）は、男子6名・女子6名で団員登録をしている者に限る。
*①は指導者登録章を左または右肩に、②③は指導者登録章を左または右肩、有資格者章を左胸（安全ピン止め可）、④は団員登録章を左または右肩に縫い付けること。

6 その他

- (1) 競技中の事故に対しては応急措置のみで、その後の責任は各自参加者の責任とする。
(2) 競技運営、審判上の注意については、代表者会議において競技委員長が説明する。
(3) 審判は大会本部審判部で行なう。
(4) 記念品交換については、色紙交換とし、すべてのチームと交換をする。
(色紙は7枚用意し、以下を参考にする)
*チーム名、都県名、個人メッセージ、氏名（イラスト等は任意とする）

「大会日程」 令和元年7月27日（土） 競技1日目（予選リーグ）

開 場	8時30分
選手受付	8時45分
公式練習	9時00分
開 始 式	9時30分
記念品交換	9時50分
試合開始	10時00分

令和元年7月28日（日） 競技2日目（順位決定リーグ）

開 場	8時00分
選手受付	8時15分
公式練習	8時30分
試合開始	9時00分
閉 会 式	15時00分（予定）

第 38 回関東ブロック競技別交流大会

【 空手道 】

1 期 日

令和元年 7 月 27 日(土)

開 場 (選手)	8 時 00 分
役員・審判 受付	8 時 00 分
代表者・審判会議	8 時 15 分
監督会議	8 時 35 分
開始式	9 時 00 分
※写真撮影	
試合開始	10 時 00 分

令和元年 7 月 28 日(日)

開 場 (役員・係員)	8 時 00 分
(選手)	8 時 00 分
開始式	8 時 30 分
試合開始	9 時 00 分
表彰式・閉会式	15 時 00 分 (予定)

2 会 場

ALSOK ぐんま総合スポーツセンター ぐんま武道館大道場

〒371-0047 群馬県前橋市関根町 800

TEL : 027-234-1200

3 競技及び構成

- (1) 同一団員が形と組手の両方に出場することはできない。ただし、大会日においてケガ及び傷病等により欠場団員が出た場合は、別の種目より同学年の団員が出場できる。
- (2) 団体形 各都県男女 2 チーム(先鋒小学 4 年・中堅小学 5 年・大将小学 6 年生の各学年 1 名、計 3 名で 1 チームとする。)
- (3) 団体組手 各都県男女 2 チーム(先鋒小学 4 年・中堅小学 5 年・大将小学 6 年生の各学年 1 名、計 3 名で 1 チームとする。)

4 競技規定及び方法

- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟競技規定及び、関東ブロックスポーツ少年団空手道競技会の申し合せ事項による。
- (2) コートは安全確保のため空手マットを使用(12メートル×12メートル)し、男子 2 コート、女子 2 コートの 4 コートで行なう。
- (3) 団体形
 - ア) 各チームを A・B・C・D の 4 ブロックに分け予選リーグを行い、各ブロック上位 2 チームによる決勝トーナメントを行なう。また下位チームは交流戦を行う。
 - イ) 審判員は 5 人によるフラッグ方式で行なう。

- ウ) 予選リーグ及び交流戦は2名同時に演武し、決勝戦と3位決定戦のみでは1名ずつの演武とする。
- エ) 演武する形は、予選リーグは、指定形とし繰り返し演武することができる、決勝トーナメントは自由形(全空連競技規定得意形リストに有る形、ただし予選で使用した形を除く)とし繰り返し演武することができる。(但し基本形は含まない)
- オ) チームの勝敗は個人の勝敗数によって決まる。チームの勝敗が決まっても3名全員が競技する。
- カ) チームの順位決定は対チーム勝数による。同数の場合は総得点の多いチームを上位とし、更に同数の場合は直接対決の結果による。
- キ) 交流戦の演武する形は、予選で使用した以外の指定形もしくは、全空連競技規定得意形リストに有る形とする。(但し基本形も含む)
- ク) 勝敗の結果は主審が座ったまま行う。

(4) 団体組手

- ア) 各チームをA・B・C・Dの4ブロックに分け予選リーグを行い、各ブロック上位2チームによる決勝トーナメントを行なう。また下位チームは交流戦を行なう。
- イ) 審判員は、主審1名・副審4名、監査1名とする。
- ウ) 競技時間は1分30秒フルタイムとし、個人の勝敗は6ポイント差とする。但し、競技時間内に5ポイント得点後の中段けり、上段けりが決まった時には7ポイント差、8ポイント差もありえる。
- エ) チームの勝敗が決まっても3名全員が競技する。
- オ) 棄権及び反則負けの場合の得点は0-6とする。
- カ) 予選リーグの順位決定は、チームの勝敗数を比較し、同数の場合は勝者と敗者の得失点の比較による。それでも決まらないときは、直接対戦の結果による。決勝トーナメントも同様に、勝敗が同数の場合は得失点数による。更に同数の場合は、代表決定戦を行い勝敗を決める。チームの勝敗が決まっても3名全員が競技する。
- キ) 組手競技について10カウントルールは、採用しない。
- ク) 安全具については、JKF指定のメンホー・ボディープロテクター・シンガード・インステップガード・赤青の拳サポーターを使用するほか、男子はセーフティカップを着用すること。
※ 拳サポーターについては赤・青とし、リバーシブルは不可とする。

(5) 服装

- ア) 空手着は、白色清潔なものを着用し、上着の背面中央にあらかじめ配布されたゼッケンを縫付け。左胸に各都県マーク・左袖はスポーツ少年団の団員登録章マークを縫付けその他は一切認めないものとする。
- イ) 赤・青の帯は選手の自前(マイ帯)とする。

5 競技運営に関する取り決め事項

- (1) 代表指導者・指導者・監督は認定員または認定育成員に限る。
- (2) 監督は3名までで、4名必要時は引率責任者・代表指導者・指導者で代用する。
- (3) 監督は左胸に各都県マーク・左袖に指導者登録章を縫付け、主催都県が配布した

IDカードを所持する。

(4) 団員（選手）は24名以内で団員登録をしている者に限る。

6 その他

(1) 「競技運営事項」及び「審判注意事項」においては、代表者会議において説明する。

(2) 競技中の事故に対しては、主催者は応急処置を行い、その後は参加者の側で処置する。

(3) 競技においては団員の安全を優先し、連続して行うことのないよう進行で工夫する。

(4) 審判員は(公財)全日本空手道連盟地区組手審判以上の資格を有するものとする。

(5) 記念品交換は、1日目の開始式前に・全員で集合写真・各都道府県別を撮影し之に充てる。

(6) 各都県のA・Bチームの選手振り分けは、各都県に一任する。

※ 写真代については、600円自己負担とする。各都県代表者が納付、送付名簿作成は不要、各代表者に写真は一括送付する。

※ 負傷・病気等による選手の交代は、他の種目で同学年の選手から選抜する。選手を交代する場合は交代決定時に交代届に記入し本部に提出する。

※呼び出しは、赤・青 先鋒〇〇選手とする。